

新刊紹介

トランスレーショナルリサーチを支援する遺伝子医学MOOK

ナノバイオ技術と最新創薬応用研究

橋田 充, 佐治英郎 編
メディカルドウ/B5・228頁・5,400円

近年、ゲノム創薬、コンビナトリアル化学、ハイスループットスクリーニングなどを組み合わせた理論的な薬物分子設計が行われてきている。一方、ナノテクノロジーの進歩は、ナノDDSをはじめマイクロマシンを用いた薬物送達を実現可能にしてい

る。ナノバイオ技術とはナノテクノロジーとバイオテクノロジーを組みあわせ、時空間世界における生命現象をナノレベルで解析・制御するシステムを構築し、その成果を医療に応用することを目的とする科学・技術領域であると本書の編集者である橋田充氏と佐治英郎氏は述べている。

本書は「ナノバイオ創薬に向けたターゲットの探索と構造解析」「ナノバイオ創薬におけるシード・リード化合物の創出と展開」等をはじめとする全7章から構成されており、ナノバイオ技術について先導的立場にある研究者による研究のコンセプト、成果、将来目標などがまとめられてい

る。本文に目を通すと、研究結果だけでなく、著者の研究に対するコンセプトが図表として示されており、ナノバイオ技術に興味を持ったばかりの読者にも分かりやすい。また、図表の一部は巻頭にカラーグラビアとして示されており、記述内容のイメージに役立っている。さらに、キーワード、用語解説、参考ホームページなども収載されているため、より深い知識を得ることができる。

本書は筆者のような領域の異なる研究者だけではなく、学生にとっても最近の研究動向を知る良い契機となるだろう。

花輪剛久 Takehisa HANAWA